

図書館開館3周年記念行事開催結果報告について

1 目的

図書館の開館3周年を記念するとともに、「読書日本一のまち」をPRし、本や読書が好きといえる市民があふれるまちを作ります。

2 内容

(1) 記念講演

ア 出版社による記念講演

(ア) 文芸書の出版を中心とした出版社の講演会

日時 10月9日(土) 午後2時から午後4時まで

場所 図書館多目的室

定員 50名

演題 「やっぱり本はおもしろい！書き手と読み手をつなぐ」

講師 辻 浩明さん(祥伝社代表取締役社長)

略歴 1984年祥伝社入社。30年間にわたり、編集者として書籍づくりに携わる。西村京太郎、横山秀夫、百田直樹など数多くの作家を担当され、2015年から現職。

【結果】

参加者 51名

内容 編集者の視点から、現在の出版業界や、作家と出版社の係わりなどを話していただきました。当日は満席となり、講演で紹介された本に予約が入るなど、市民の読書意欲が喚起されたことを実感しました。講演終了後は参加者から「あっという間だった」「ずっと聞いていたかった」などのお声をいただきました。



講演会当日の様子

(イ) 子どもの本の出版を中心とした出版社の講演会

日時 11月10日（水）午後2時から
場所 図書館多目的室
定員 50名
演題 「本ってこんなに面白い！ 子どもの本の立場から」
講師 田辺 直正さん（株式会社アリス館代表取締役）

【結果】

参加者 48名

内容 一冊の絵本が出来るまでの編集者や作家の苦労などをお話いただきました。「思いやりとやさしさにつながる豊かな感受性や想像力を育む本を作り続けたい」と話されたのが印象深く、参加者も深く聞き入っておられました。講演会場に展示していた約100冊の関連絵本はほぼ貸し出され、講演終了後、講師に熱心に質問する参加者の姿も見受けられました。



講演会当日の様子

イ 理系専門分野講座「物理学」

日時 11月13日（土）午前10時から11時まで
場所 図書館多目的室
定員 50名
演題 「太陽の科学」
講師 大山真満（滋賀大学教育学部准教授）

【結果】

参加者 36名

内容 最新の画像や動画も用いながら、太陽の素顔を紹介していただきました。参加者は約半数が学生層で、中高生だけではなく小学生の姿も見え、家族連れで参加された方もありました。参加者からは「例えがわかりやすかった」「太陽について詳しく知ることができてよかった」等、学ぶ楽しさを感じてくださった方が多数いらっしゃいました。



講演会当日の様子

(2) 図書館サポート隊関連企画

ア 中高生サポート隊企画「クイズラリー」

開催日 10月30日（土）、31日（日）

場所 図書館1階、2階エリア

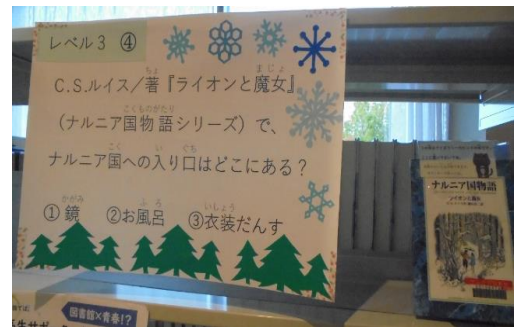
【結果】

参加者 148名（延べ）

内容 図書館内に中高生サポーターが作成した問題を掲示し、参加者に回答してもらいました。受付や記念品の準備も中高生サポーターが主導で行いました。クイズの難易度の全レベルに挑戦する参加者もありました。中高生サポーターの意欲的に取り組む姿が見られ、企画に参加できて、楽しいとの声を聞くことができました。中高生サポーター同士の中もイベントを通して深まった様子でした。



受付の様子



出題されたクイズ

イ 3周年おめでとう動画の上映

期間 11月1日から11月30日まで

場所 図書館木もれびギャラリー

【結果】

内容 図書館サポート隊が自ら作成されたお祝いメッセージや、活動を紹介する動画および利用者に図書館や本についてインタビューを行った動画を、木もれびギャラリーで上映しました。14のサポート隊が動画を作成され、それを図書館職員が編集しました。コロナ禍でサポート隊活動が制限される中、コンサートや紙芝居、折り紙など、動画による活動紹介はわかりやすく興味深いものとなり、足をとめてご覧になる来館者の姿も多く見られました。また動画ではなく、カードで活動を紹介されたサポート隊が18あり、写真や絵画などを取り入れ趣向を凝らし作成されていました。



動画の上映と活動紹介の掲示

(3) 一言メッセージの掲示

期間 11月1日から11月30日まで

【結果】

内容 「わたしと図書館」をテーマに、利用者から事前募集し、集まったエピソードカード48枚と、図書館開館後、3年間の貸出冊数や主な行事を、木もれびギャラリーで掲示しました。寄せられたメッセージは「本がいっぱいあってうれしい」「もっと本を読みたい」「ゆっくり本を選ぶことができる」等の内容が多くありました。



一言メッセージの掲示

(4) ワークショップ「新図書館開館3周年記念 図書館の職員と話そう」

日時 12月18日（土）

場所 図書館多目的室

【結果】

参加者 市民8名（中学生から70代までの幅広い年齢層の方が出席）、図書館協議会委員3名、図書館職員2名

内容 グループ討論を行い、それぞれ発表を行いました。「市の広報や職員が地域に出向いてPRを行うべきである。」「親しみやすい図書館の雰囲気づくり、職員づくりが重要である。」「図書館サポート隊の交流をもっと行うべきである。」「北部図書館を拠点に利用の少ない北部地域の住民に図書館利用を働き掛けるべきである。」「小中学校と連携し、学校で本を読む時間の確保ができないか。」など実体験を踏まえながら、たくさんのご意見をいただきました。また、模造紙に書いた意見を展示してほしいという要望があり、現在もエレベータ横に掲示しています。



討論の様子

3 事業の課題

講演会については、市民の本に関する興味関心をより深めるとともに、本や読書に興味が無い方にも、図書館に足を運んでいただくきっかけとなり、図書館利用に繋がるよう、内容を企画する必要があります。図書館や本を通して心豊かな生活や人生を送る人たちが溢れるまちとするため、今後も、図書館サポート隊との連携、協働を深め、活動を盛り上げていくよう努めます。

ワークショップについては、いただいた意見をそのままにするのではなく、できることから実施に向け、取り組んでまいります。